

令和 3 年度  
都市景観大賞

受賞概要

都市空間部門  
景観まちづくり活動・教育部門



「都市景観の日」実行委員会

## contents

### 都市空間部門

受賞地区一覧	2
総評（審査委員長 陣内 秀信）	3
受賞地区の概要	4

### 景観まちづくり活動・教育部門

受賞活動一覧	10
総評（審査委員長 小澤 紀美子）	11
受賞活動の概要	12

令和3年度都市景観大賞について	15
-----------------	----

都市景観大賞 都道府県別受賞一覧（平成23年度～）	16
---------------------------	----

都市空間部門

---

# 都市空間部門 受賞地区一覧

## 大賞 国土交通大臣賞

地区名	地区面積	応募者
出島地区 (長崎県長崎市)	約1.5ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・長崎市</li><li>・長崎自動車株式会社</li><li>・出島町自治会</li><li>・江戸町自治会</li><li>・NPO法人長崎コンプラドール</li><li>・NPO法人長崎の食文化を推進する会</li></ul>

## 特別賞 「都市景観の日」実行委員会会長賞

地区名	地区面積	応募者
糸魚川市駅北地区 (新潟県糸魚川市)	約17ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・糸魚川市</li><li>・大町区、緑町区、新七区</li><li>・糸魚川商工会議所</li><li>・糸魚川広域商店街</li><li>・EKIKITA WORKS</li><li>・株式会社BASE968</li><li>・株式会社ワークヴィジョンズ</li></ul>

## 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会会長賞

地区名	地区面積	応募者
日本橋二丁目地区 (東京都中央区)	約2.6ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本橋二丁目団地管理組合</li><li>・株式会社日本設計</li><li>・株式会社プランテック総合計画事務所</li><li>・Skidmore, Owings &amp; Merrill LLP</li><li>・日本橋ガレリアエアリアマネジメント</li></ul>
山口県長門市深川湯本地区 (長門湯本温泉) (山口県長門市)	約304ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・長門湯本温泉観光まちづくり推進会議</li><li>・長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議</li></ul>
さいき城山桜ホール周辺地区 (大分県佐伯市)	約1.86ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・佐伯市</li><li>・福岡大学景観まちづくり研究室</li><li>・久米設計</li><li>・スタジオテラ</li><li>・大分大学建築・都市計画研究室</li><li>・大手前開発市民会議</li></ul>

## 総評

審査委員長 陣内 秀信

コロナ禍のなかでの今年度は応募状況が心配されたが、嬉しいことにこの数年のなかでも最も多い18件の応募を得た。しかも様々なタイプの景観形成で成果をあげた優れた事例が揃っていた。

失われた歴史都市の空間の復元、大火あるいは大震災・津波後の復興事業、歴史や緑・地形を活かした都心での文化性の高い大規模再開発、逆に地方の小さなまちでの水辺の温泉地区再生や公共施設を核にした市民の空間づくりなど、実に多彩な広がりを見せ、我が国での都市景観への意識の高まりを再認識できた。

なお、審査は一次、二次ともオンライン形式だったが円滑になされ、その間に行われた現地審査も、地元の関係者の方々のご尽力、ご協力で例年同様、滞りなく実施できた。

大賞に文句なく選ばれたのは「出島地区」である。70年に渡り長崎市役所と住民、市民、専門家が総力をあげ官民一体となって取り組んだ出島復元整備の文化事業は、まさに圧巻である。失われた歴史空間を再現すると同時に、アプローチの橋と川を挟んだ対面に市民に親しまれる公園をいずれも最先端のデザインで実現し、歴史と現代が見事に対話する魅力的な景観を創り出すのに成功している。

次に高く評価されたのは「糸魚川市駅北地区」である。大火後の復興という難しい課題に対し、市及び市民が公民連携で修復型まちづくりを推し進め、着実に成果を生んできた。空き家、空き店舗の活用、伝統要素の「雁木」の再生と回遊性の創出など、市民の思いを活かし魅力的な暮らしの場が登場している。今後の景観まちづくりの一つのモデルになり得るこの事業に対し特別賞が与えられた。

そして、異なるタイプの優れた事例である3つの地区が優秀賞に選ばれた。先ず、都心の再開発の成果として高い評価を得たのが「日本橋二丁目地区」である。重要文化財のデパート建築の保存活用を核とし、隣の街区に登場した高層の建物にも基壇部にその高さ、基本構成を受け継いで街路景観に連続性を与えると同時に、その両者の間に設けられたギャラリーが回遊性を創出し、景観的にも機能的にも周辺地区に大きく貢献している。

それと対極的なのが「山口県長門市深川湯本地区」である。衰退をたどってきた谷あいの小さな温泉街が、市の強力なイニシアチブのもと、全国で実績をもつ民間事業者の力を得て、川と斜面の地形を活かす卓抜したランドスケープデザインによって、回遊性のある魅力的な21世紀の温泉街として蘇った。もう一つの小さなまちの優秀賞が「さいき城山桜ホール周辺地区」である。旧再開発計画の白紙撤回を受け、市民参加を徹底的に推し進め、公共施設づくりを契機にその周辺に魅力あふれる市民の広場を実現したこの貴重な成果は、地方における今後のまちづくりに勇気を与えるに違いない。

## 大賞 国土交通大臣賞

## 出島地区

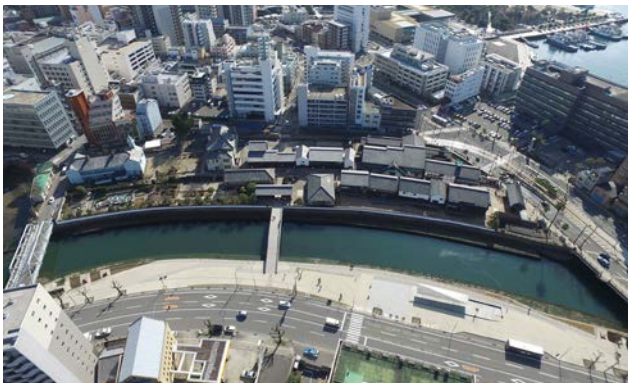
所在地	長崎県長崎市
地区面積	約1.5ha
応募者	長崎市、長崎自動車株式会社、出島町自治会、江戸町自治会、NPO法人長崎コンプラドール、NPO法人長崎の食文化を推進する会

## 地区概要

当地区は、鎖国時代に日本で唯一西洋に開かれ貿易の窓口であった歴史的な場所でありながら、近代以降の土地利用の進展等により往時の景観が失われていた。

長崎市は、1951年から史跡地内の公有地化を進め、1996年から復元整備事業に本格着手し、これまでに16棟の建造物や石垣等を復元整備し、2017年には出島表門橋と対岸の出島表門橋公園を整備、2020年までにエリア全体の夜間景観整備を進め、約70年をかけて公共空間と建物等が一体となった歴史的景観の再生、夜間の景観等も含めた魅力ある景観の創造を進めてきた。こうした復元整備事業を進めるにあたっては地区住民の理解と協力、さらに、経済界が中心となって集められた約10億円の基金が大きな力となった。

復元整備事業が進み、2006年にゾーン化・有料化されて以降、NPO法人による建造物活用や歴史ガイド、地区住民による長崎くんち、市民団体によるイベント、日蘭交流の拠点等として活用され、2018年には年間50万人の来場者を迎え、周辺地区のみならず市全体の観光交流、にぎわいの拠点となるとともに、市を代表し、市民が誇る景観になっている。



2018年に撮影した出島地区の全景。16棟の建造物、石垣、練塀の復元、史跡地内の電線電柱の地中化、出島表門橋の架橋、出島表門橋公園の整備等を約70年かけて実現した。



2020年に撮影した出島内の様子。写真正面に写る水門まで復元建物による歴史的まち並みが続いている。

## 審査講評

長崎の象徴、出島の復元と対岸の公園整備を一体的に実現した、官民をあげての壮大な文化・まちづくり事業の偉大な成果である。失われた重要な歴史的都市空間を広い範囲で復元し、その景観を市街地のなかに再現した日本で最初の試みと言える。発掘調査と信頼できる史料群に基づき、丁寧に復元がなされた。次の段階で、やはり公有化された対岸の土地を公園とし、その中程に出島に入るための表門橋を架ける事業を実現した。縦割りを越え行政の総力をあげた横断的な取り組み、橋・公園の基本設計から実施設計・詳細設計まで一括発注する形でのプロポーザルによる設計者の選定、ワークショップを重ね市民の意見を取り入れて公園を創り上げた開かれたプロセス。これらの画期的な試みが市民、住民の大きな支持を得ながら、質の高い空間、景観を生み出した。史跡に荷重をかけないよう工夫された軽やかで美しい橋、公園の水際に曲線美を描く手摺など、現代の先端デザインの数々が復元された出島と対比的な景観を生み、そこに、出島、橋梁、公園の夜間照明も加わって、場所の魅力を一層高めている。観光客に人気の出島の運営、市民が参加する各種イベント、公園での様々な活動には地元住民、市民との協力が望ましい形で実現している。

歴史都市長崎の中心部に、過去と現代が対話する素晴らしい都市景観を創出したこの事業は、まさに大賞の名に相応しいものである。(陣内)



市民によって活用され、長崎市の観光交流、にぎわいの拠点となるとともに、市を代表し、市民が誇る景観となっている。



出島、出島表門橋、出島表門橋公園をそれぞれ管轄する3つの部局を超えて一体的にデザインした夜景。

## 特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

## 糸魚川市駅北地区

所在地 新潟県糸魚川市

地区面積 約17ha

応募者 糸魚川市、大町区、緑町区、新七区、糸魚川商工会議所、糸魚川広域商店街、EKIKITA WORKS、株式会社BASE968、株式会社ワークヴィジョンズ

## 地区概要

平成28年12月の糸魚川市駅北大火によって、中心市街地の約4ヘクタールが焼失し、旧北国街道（本町通り）沿いに建てられていた歴史的な建物等が失われた駅北地区において、公共空間の再整備は、被災した地域住民の当地区への帰還と暮らしや生業の再建に向かう意欲を引き出す鍵でもあった。

都市基盤の復旧・復興にとどまらず、糸魚川らしいまち並みの再生と地域の暮らしや営みに根差した景観づくり、防火・防災機能の強化等、行政、設計者と地域住民や事業者がともに考え、意見やアイデアを出し合いながら、復興の先のまちの目指す姿を共有し、景観形成とまちなみの再生に取り組んできた過程は、市民と行政との信頼関係をより強固なものにし、「暮らしを支え、経済活動を支え、シビックプライドを醸成する景観」の実現につながっている。

「糸魚川市駅北まちづくり戦略」に掲げた駅北地区の目指す姿「まちなか大家族一つながり、育む、豊かな暮らし」の言葉には、人と人、人とまちのつながりを育むことで、市民（大家族）にとって居心地の良い特別な場所にしていく、という市民の思いが込められている。

## 審査講評

地方都市の人口減少と空洞化は残念ながら現実である。そこが災害に見舞われた場合の復興は、この現実が加速することを踏まえて臨まねばならない。糸魚川市駅北地区はまずこの文脈において注目できる。歴史的蓄積のある街中が焼失した後のまちづくりは、意思決定の迅速化を最優先するため小規模単位で進め、空地の創出を恐れずむしろ積極的に市が確保した。そうしてできたランダムな公共空間をどう使うかの視点から、連鎖的なまちの営みをエンカレッジする仕組みと空間整備を並走させる。まずマスタープランと空間整備、次に活用というプロセスとは大きく異なり、現実を見据えたチャレンジである。その成果は核となるキターレから離散的にまちの随所に景観として実を結び始めている。見るべきははまだ整備中の街路景よりも、ここでこうしたいというやる気が見せる場の景である。災害復興に限らず、現代日本の都市景観形成のあり方に一石を投じた事例として特別に高く評価したい。（佐々木）



手前が南側、奥手の日本海が北側。平成28年12月22日の糸魚川市駅北大火直後の平成28年12月25日撮影。糸魚川駅北大火では約4ヘクタールを焼失。



上が日本海側（北）で、下が糸魚川駅側（南）。中央の東西に横断している通りが「本町通り」。駅から日本海に連なる市民公園が整備されている。



日本海に最も近い大町潮風市民公園



地域の核の1つとなる駅北広場キターレ

# 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

## 日本橋二丁目地区

所在地 東京都中央区

地区面積 約2.6ha

応募者 日本橋二丁目団地管理組合、株式会社日本設計、株式会社プランテック総合計画事務所、Skidmore, Owings & Merrill LLP  
日本橋ガレリアエリアマネジメント

### 地区概要

日本橋駅に隣接し、重要文化財の日本橋高島屋S.C.本館を含む4街区からなる当地区は、江戸期以降老舗や百貨店が建ち並ぶ国内有数の商業地だったが、平成期には土地の細分化などによりランダムな景観となり活力も低下していた。行く末に危機感を持った地権者がエリア価値向上の必要性を中央区と共有し、都市再生特別地区による再開発事業を行った。

4街区一体の計画により、公共空間と同時に街並みを整備。本館を保存活用し、重文で評価された意匠を再解釈して周辺街区へと発展的に継承した「都市の増築」により、歴史が重層する統一感ある景観を創出した。地上・地下・空中に回遊性が高く地区周辺にもつながる歩行者ネットワークをつくり、新たな賑わいと視点場を生み出した。

区道を歩行者専用道化してガラス大庇を掛けたガレリアを核として、地下駅前広場、地下区道、街角広場、コミュニティスペース、街の東屋、公共エレベータ、3街区をつなぐ空中歩廊、屋上庭園など、多様な居場所が相互に接続し関連している。これらを団地管理組合・エリマネ組織などが連携して管理運営しており、コロナ後や災害時にも適用し得る豊かな屋外空間が、新しい生活文化と地域活性化の可能性を拓いている。

### 審査講評

本地区は、日本橋高島屋本館とその周辺街区を対象とした都市再生プロジェクトである。高橋貞太郎設計の高島屋本館は、村野藤吾によって増改築が行われ、重要文化財の指定を受けている。本プロジェクトではその保存活用が課題となるが、隣接街区について高さ、ファサードなど調和をもつて設けるとともに、各街区の地下空間を結びつけて自動車動線の整理を行い、建物間の空間（片持ちで大屋根も実現）及び街区周辺に歩行者空間を確保するとともに、屋上自動車駐車場の撤去を行い屋上にも街区を結びつける歩行者空間を広げている。

また、オフィス入口を中央通り側に設けない、北街区の敷地を一部取り込む、敷地内地下空間を地下鉄駅と一体で整備するなど、隣接地域との関係も意識した計画が実現されている。

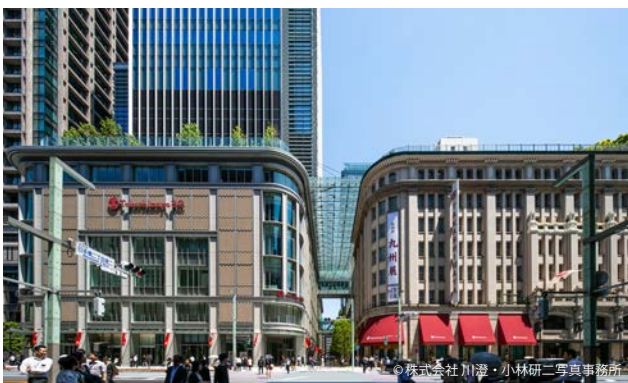
都心部における重要文化財を活用した都市再生プロジェクトとして良質な都市景観を形成しており、十分に「優秀賞」受賞に値するプロジェクトであると判断される。（岸井）



南西側鳥瞰。  
手前のB街区、右のA街区、左奥のC街区、その奥に隠れたD街区の一体的開発。



中央通り南西側からの景観。  
重要文化財から連なる街並みと、現代的な高層部の対比。



中央通り側ファサード。  
新旧の建物が響き合い、中央の日本橋ガレリアにより統合されている。



日本橋ガレリアを東から見る。  
車両出入口や通用口のあった裏通りが、賑わいの核へと変貌した。



## 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

## 山口県長門市深川湯本地区（長門湯本温泉）

所在地 山口県長門市

地区面積 304ha

応募者 長門湯本温泉観光まちづくり推進会議、長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議

## 地区概要

長門湯本温泉は、山口県北西部に位置し、周囲を山々に囲まれた谷あいにある小さな温泉街である。

昭和58年をピークに約30年にわたり宿泊者数は減少。平成26年には創業150年の老舗ホテルが廃業し、温泉街に遊休地が広がり更に厳しい状況に陥った。長門市は温泉街だけでなく市全体の危機と捉え、廃業ホテルの建物を解体して土地取得を決意。星野リゾートを誘致するなど、遊休地を活用した再生に乗り出した。

平成28年に星野リゾートと協働で温泉街再生のためのマスタープランを策定。行政が見合う事業投資を検討するという逆転の発想で、圧倒的なランドスケープデザインにより“そぞろ歩きが楽しめる温泉街”を実現し、全国温泉地ランキングトップ10入りの目標が掲げられた。

温泉街の整備は、プロジェクト司令塔や建築・ランドスケープ・夜間景観・交通・観光・金融・広報の専門家、地元有志で構成され実務検討を担うデザイン会議と意思決定を担う推進会議を組成。公共投資主導ではなく官民での事業推進体制を構築し、平成29年から本格的に着手した。

3年に渡る整備を経て、魅力的で非日常を味わえる温泉街へと変貌を遂げ、新たな観光地として生まれ変わった。

## 審査講評

対象地区は山口県の日本海に近い山あいの小さな温泉街である。地域再興のため、外部の著名人等呼び込み再整備を進めるといった方法は良くみられるものの、そういった方法で成果を挙げられる場所はある程度限られるように思うのだが、当地区は少し状況が異なる。一つは全国温泉地のトップ10入りを目指す、というややとてつもない目標が掲げられていることである。それが外部の有能な人々を惹きつけ、地域の力にしたのではないかと思える。また全国で活躍しているこの外部の人たちの多くが、自ら資産を持つという形でこの取り組みに参加している状況にも着目される。計画や作られた景観について評価すべきは、思い切った計画を躊躇なく実行したこと、といえるだろう。当初描かれた全体構想は、対象とされた土地の範囲を超え、温泉街の他の人の土地にも遠慮なく描かれ、そして実行された。そしてかなり手の込んだ照明計画もまた、実行された。総じてデザインは高いレベルを保っているものの、一部にはやや疑問を持つ解答も含まれる。しかしながらそれを超える充実されたソフト面での取り組みと成果も含め、優秀な取り組み例として評価した。（高見）



当地区は、音信川沿いに広がる県内最古の歴史をもつ温泉街である。



駐車場から雁木広場までを結ぶ竹林の階段。夜間は幻想的な空間となる。



雁木広場は、自由度が高く、回遊性と川辺の景観を楽しむ空間を演出。再建された恩湯（右）と長門市の食材が味わえる恩湯食（左）



川のせせらぎを聞きながら開放的な空間でくつろぐことのできる川床。

# 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

## さいき城山桜ホール周辺地区

所在地 大分県佐伯市

地区面積 約1.86ha

応募者 佐伯市、福岡大学景観まちづくり研究室、久米設計、スタジオテラ、大分大学建築・都市計画研究室、大手前開発市民会議

### 地区概要

かつて佐伯の文化や活力の象徴として市民の思い入れの強かった大手前地区。一度は再開発事業が白紙撤回されるという市民の行政不信状態から、徹底した市民参加プログラムを経て、城山や周辺まち並み、隣接エリアとの繋がりを考慮した複合文化交流施設および広場、バスロータリー等の一体的整備がなされた。

市民会議によって提案された「いつでも誰でも気楽に集まれる場所」等をコンセプトに、長らく空き地となっていた大手前地区の閑散とした風景を、日常的に「人がいる風景」へと再生させた。また当該地区の整備によって既存文化ホールやバス停留所の老朽化、人と大型車の動線の交錯といったまちの課題を解決し、さらに新たな動線をつくり出すことで地区内にある既存商店街への波及効果を促す工夫も施された。

まちのランドマーク地区として生まれ変わった大手前の当該地区は、現在も商店街との連携や各種文化・交流企画の実施、さらに市民代表からなる運営委員会が市民提案の自主事業を進めるなど、佐伯市民の文化と活力を取り戻す新たな拠点となっている。

### 審査講評

地名の由来は中世にまで遡り、後に毛利氏によって築城され今もなお城下町の名残が散見される風向の良い港町である。城石垣が残る城山は街の象徴でありホールの名称にも採用されている。対象地区は近代以降商業の中心地として栄え、九州最大手の大型商業施設発祥の地として賑わいの中心であった。しかし、郊外型店舗の急速な進出によって大型商業施設が撤退し中心地の空洞化が加速した。最初の再開発計画は市民の反対運動によって白紙撤回に追い込まれた。その後市民会議の発足、専門家の参画によって合意形成がなされ、市民や高校生達の意見を取り入れた提案書が作られ、市民本位の施設実現に向けて大きく舵が切られた。中核を成す複合施設の謳い文句は「人がいる風景」である。透明性を保ち、周囲からアクティビティが見えることで内外のつながりが生まれた。食文化を広めるためのキッチンコートも市民の要望で誕生した。街並みへの連携はホール屋根の分節化や広々とした芝生広場により実現している。交通広場の移動と再編、芝生マウンドによる国道への遮蔽効果も人の場所づくりに貢献しているようだ。今後、周辺の歴史的街並みと連携した新たな回遊性が生まれることに大いに期待したい。(富田)



城山からの眺め。ホールの整備にあわせて既存商店街の西側(写真右)にバス停留所を移設。



ホールの北側には広場(さくらごろごろパーク)が整備され、子ども達の日常的な遊び場となっている。



市道側はホールの軒が低く抑えられ、落ち着いた質感の舗装で船頭町まで続いている。



夜間は透過性の高いホールからの明かりや内部で活動する人々の様子が地区内の景観演出に寄与している。

景観まちづくり活動・教育部門

---

## 景観まちづくり活動・教育部門 受賞活動一覧

### 大賞 国土交通大臣賞

活動名	活動エリア	応募者
清水港・みなと色彩計画	静岡県 静岡市	・清水港・みなと色彩計画推進協議会 ・静岡市

---

### 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
SAPPORO フラワーカーペット	北海道 札幌市	・サッポロフラワーカーペット実行委員会
町歩きガイドツアー 「古地図を片手に、ぶらり萩あるき」	山口県 萩市	・NPO萩まちじゅう博物館 ・NPO萩観光ガイド協会 ・浜崎しっちゃん会 ・須佐地域史跡案内ボランティアガイドの会 ・萩往還佐々並どうしんてやろう会 ・萩市

---

## 総評

審査委員長 小澤 紀美子

本部門への応募は、コロナ禍の影響を受けて減少したことは残念ですが、応募いただいた活動は独自性にあふれ魅力的な取組みでした。

まず、書類に記述されている内容で、専門とする審査員の各分野の視点から活発な議論のもと第一次審査を行いました。景観まちづくり活動・教育部門としての評価のポイントは、取組みが①継続的に行われていること、②フィールドとする地域とのかかわりや連携がとれていること、③実施方法や内容の工夫など独自性があること、④活動や教育を行う対象との双方向性や対話性があること、さらに⑤活動成果の地域への顕著な効果の発現やその発現が期待できること、です。

こうしたポイントから現地に赴いて、専門的な視点からも評価を確実に行うこととし、現地視察・調査の対象を絞り込みました。第二次審査では、現地視察・調査の結果を各担当の審査委員がパワーポイントでのプレゼンを行い、今年度は大賞として1件、優秀賞として2件を選定しました。

受賞された各取組みや実践に関しての評価に関しては、各審査講評を参照していただきたいと思います。評価されたそれぞれの活動は地域の活性化や持続性をめざして、地域の住民の方々や次世代を担う方々との連携、さらに学び合う関係づくりをしながら人材育成など着実に進めておりました。さらに活動の効果の発信に向けて多大な努力が行われているといえます。次年度も、多彩な活動による全国各地の成果の応募を期待したいと思います。

なお今回、惜しくも受賞の逃した団体の活動にも評価すべき点がありました。本部門の評価としての先に述べた5つの評価のポイントを配慮していただくと共に、連携がカタチだけに終わらずに、地域の魅力を高め、その魅力に磨きをかけて、より有機的な協働にまで及ぶようにしていただき、活動が地域に浸透・深化していくことを期待しております。なお応募申請書の記述内容だけでは、地域の魅力を十分に理解できない内容や地域への波及効果が読み取れないものもありました。今後とも、景観まちづくり活動・教育活動を継続していただき、申請書の書き方を工夫していただき、再度の応募を期待しております。

# 大賞 国土交通大臣賞

## 清水港・みなと色彩計画

活動エリア 静岡県静岡市清水区

応募者 清水港・みなと色彩計画推進協議会、静岡市

### 活動概要

清水港・みなと色彩計画は、平成3年に全国に先駆けて策定した色彩ガイドプランである。

清水港は戦後、経済成長を支える重厚長大産業の空間となる一方で、市民にとって近寄りやすい存在となっていた。女性23名で構成された「レディズ・マリン・フォーラム」が、暮らしの視点から港を見直し、「美しいみなとまちづくり」を提言した。本提言を受け、色彩・景観に関する専門家と地元企業の代表等により、色彩による清水港らしさ（アイデンティティ）の実現を目指す計画が始まった。

本計画は、地域による主体的な取組を実現するための配色構成と、仕組みづくりに特徴がある。計画の策定に当たっては、ステークホルダーの声を反映し、富士山及び駿河湾と調和するシンボルカラー（アクアブルーとホワイト）を設定、港湾機能ごとの空間イメージを定め、清水港独自の景観づくりを目指してきた。

補助金・減税等の公的支援の無い中で、事業者が行う塗替え・改築等の時期に合わせた参画要請や、随時行われる色彩・景観に関する相談の中で、各企業のコーポレートカラーの使用、CGを活用した配色デザインの提案など、対話型の仕組みをブラッシュアップしている。

本計画は令和3年度に30周年を迎えるが、時代の変化に合わせて計画を改定している。今後も港湾関連事業者、国・県・市の行政、市民がそれぞれの立場で役割を果たしながら、共創の取組により清水港の魅力を高めていく。

### 審査講評

清水港の取り組みは色彩計画という言葉では正しく表現できない。30年以上にわたって取り組まれてきた港の風景の再デザインであり、その成果はこの風景を担うべく醸成された地域社会そのものである。

港に連なる建屋の屋根の色彩はある範囲に収まりつつ微妙に色合いが異なり、単なる統一ルールでできた姿ではないことが伝わる。施設は時に抑制的に時に戦略的にデザインされ、丁寧な検討と協議が重ねられたことがわかる。港湾関連事業者は世界の港を見ているので意識が高いのだという。各社が工夫を凝らし、専門家のアドバイスを得ながら風景をひとつひとつ洗練させてきた。その動きは臨港地区の外側にも広がりを見せている。

日本平から港を眺めると、海と山のおと港のおおが引き立てあい、その向こうに富士山がそびえる風景が楽しめる。この風景を眺めて育った若者は心からふるさとを誇りに思えるだろう。

港湾を管理する県、まち全体に責任を持つ市、物流・工業・商業などを営む事業者、将来を担う若者たちを含む市民、全体を見渡す専門家。港にかかわる全ての主体がそれぞれに磨き上げた清水港は現代日本を代表する美しいみなとまちである。（福井）



シンボルカラーによりデザインされたガントリークレーンが、富士山と調和した景観を形成している。



赤白からシンボルカラーへ塗り替えられた煙突。地元住民・事業者・行政が一体となって実現した、計画を象徴する取組。



サイロ等の産業景観を背景にイベントを楽しむ様子。市民にとって近寄りやすい港から、賑わい・憩いの場へと変わっていった。



毎月実施する色彩相談会において、事業者と協議しながら取組を進めている。

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

# SAPPORO フラワーカーペット

活動エリア 北海道札幌市中央区 札幌駅前通地区

応募者 サッポロフラワーカーペット実行委員会

## 活動概要

サッポロフラワーカーペットは、市民参加型のパブリックアートのイベントとして、札幌のメインストリートである札幌駅前通と北海道庁赤れんが庁舎との間に位置する札幌市北3条広場をメイン会場に、2014年から開催してきた。

フラワーカーペット（花びらや自然素材を用いた花絵）は市民ボランティアや近隣のオフィスワーカー等の参加者によって制作される。誰でも参加することができる簡単な作業であり、それがこの活動の目的の一つである「老若男女・国籍を問わない制作作業を通じた多文化共生の推進」に繋がっている。

完成した色とりどりのフラワーカーペットは参加者の手でつくられたものであり、こうした風景が、参加者のこの地区に対する愛着や大切にしたいと思える景観形成に繋がっている。また、北海道庁赤れんが庁舎の景観とも相まって、札幌の初夏ならではの風景を創り出しており、道内外から訪れた人々を楽しませている。

## 審査講評

北海道庁赤れんが庁舎前の「札幌市北3条広場」（通称アカブラ）は、2014年8月にオープンした。広場に面する民間施設の協力によって道路と壁面後退部分が一体的になった魅力的な広場空間が生まれ、2015年度の都市景観大賞「都市空間部門」優秀賞を受賞した。

広場オープン時にイベントとして開催されたフラワーカーペットが好評を得たため、翌年実行委員会を設け、地元企業の協力や寄付を得ながらすでに5年実施してきている。実施にあたっては、当日のボランティアはもちろん、制作リーダーの育成、地元の大学へのデザイン依頼など、地域への働きかけも積極的に進めている。また、開催場所も民間の公開空地や屋上広場等すでに4箇所に広がりつつある。魅力的な都市広場において市民参加型で活用する事業を企画運営し、札幌を代表するイベントとして展開させてきたことは、高く評価することができる。今後もアイデアあふれる広場の利活用を期待したい。（卯月）



フラワーカーペット完成後に撮影した、制作ボランティアの集合写真



フラワーカーペットのまわりにキャンドルライトを灯して演出している様子



下絵に沿って花びらをならべる作業の様子



フラワーカーペット内に入って直に花びらに触れることができるフリーウォーキングの様子

## 優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

# 町歩きガイドツアー「古地図を片手に、ぶらり萩あるき」

**活動エリア** 山口県萩市 堀内伝建地区、史跡萩城城下町、浜崎伝建地区、須佐武家町、佐々並市伝建地区

**応募者** NPO萩まちじゅう博物館、NPO萩観光ガイド協会、浜崎しっちゃん会、須佐地域史跡案内ボランティアガイドの会、萩往還佐々並どうしんてやろう会、萩市

### 活動概要

萩市は、この地に訪れた人々に対して、市民が「主」、訪れ人が「客」として、客を迎え入れる「おもてなし」の体制を整え、住民や行政のみならず、訪れる方々も一体となったまちづくり・観光地づくりとして「萩まちじゅう博物館構想」を推進している。

萩まちじゅう博物館構想とは、まちじゅうがまるで屋根のない博物館のような萩のまちを次の世代に引き継ぐため、素晴らしい歴史や文化、自然を守り活用する取り組みである。

その展開にあたり、良好な景観が地域の魅力の基盤となるとともに、景観の活用が新たな観光地づくりにつながっている。

活動の一つである「古地図を片手に、ぶらり萩あるき」は、歴史的な景観が残る地区をめぐる、まち歩きガイドツアーで、古地図を片手に、昔とほとんど変わることのないまちなみを感じるにより、その歴史的まちなみ景観の保全を理解してもらい、継承へとつなげている。

### 審査講評

萩市は、地形的な特色から江戸時代の地図がそのまま使え、古代から藩政期・明治維新さらに現代へと連綿とつながる「時」が日常やまちの表情を彩っている、『まちじゅう屋根のない博物館』である。その彩りは「まち歩きボランティア」による「対話型」案内で理解が深まる。昭和時代に地域の資産価値に気づき、歴史的景観保存条例を制定して景観の保存への努力を積み重ねてきた上に、「萩まちじゅう博物館条例の制定」による地域のプライドを醸成してきたことは高く評価できる。条例に曰く、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝え、「萩を終の住処にして良かった」と日々実感できるような魅力あるまちづくりに努め、萩を訪れた人々に萩の良さや歴史を、愛着と誇りを持って伝えることで、「日本の心のふるさと」と思われる、おもてなしをまちじゅうで推進することを決意し、暮らしを美しく育てている「風」が風土・風景・風格・風情を生み出し、おもてなしのスピリッツがにじみ出ている点も高く評価された。次世代への「知の継承」がいつそう推進されることを期待したい。(小澤)



古地図と現代の地図を重ね合わせたもの



堀内伝建地区のガイドツアーの様子



浜崎伝建地区でのガイドツアーの様子



須佐武家町でのガイドツアーの様子



# 令和3年度 都市景観大賞について

令和3年度は、下記の通り「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。

## I 都市空間部門について

### 1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

### 2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1地区
- ② 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定
- ③ 優秀賞 …………… 数地区

### 3. 対象地区の要件

本賞は、街路や公園等の公共空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

### 4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になります。

※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください。

### 5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

### 6. 審査委員

[委員長]

陣内 秀信 法政大学特任教授、中央区立郷土天文館館長

[委員]

池邊このみ 千葉大学教授

卯月 盛夫 早稲田大学教授

岸井 隆幸 (公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長、  
日本大学特任教授

佐々木 葉 早稲田大学教授

高見 公雄 法政大学教授

田中 一雄 (株)GK デザイン機構代表取締役

富田 泰行 トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

国土交通省 都市局市街地整備課長

国土交通省 住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、令和3年3月時点)

## II 景観まちづくり活動・教育部門について

### 1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

### 2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1活動
- ② 優秀賞 …………… 数活動
- ③ 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定

### 3. 対象活動の要件

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

### 4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

### 5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰活動を選定します。

### 6. 審査委員

[委員長]

小澤紀美子 東京学芸大学名誉教授

[委員]

卯月 盛夫 早稲田大学教授

楚良 浄 世田谷区玉川小学校指導教諭

福井 恒明 法政大学教授

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、令和3年3月現在)

■主催：「都市景観の日」実行委員会 \*下線は協賛団体も兼ねています

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、

(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、

(一社)日本屋外広告業団体連合会、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、

(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、

(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <https://www.udc.or.jp>

## 都市景観大賞 都道府県別受賞一覧 (平成 23 年度～)

---

## 都市空間部門 H23～R3年度実施

### 北海道・東北地方

都道府県	市町村	地区名	応募者	年度	区分
北海道	札幌市	創成川通・狸二条広場地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市</li> <li>狸二条広場運営協議会</li> <li>公益財団法人 札幌市公園緑化協会</li> </ul>	H 24	優秀賞
		札幌北2西4地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市</li> <li>三井不動産株式会社</li> <li>日本郵便株式会社</li> <li>株式会社日本設計</li> </ul>	H 27	優秀賞
	旭川市	北彩都あさひかわ地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭川市</li> <li>北彩都あさひかわまちづくり推進会議</li> </ul>	H 27	大賞
宮城県	仙台市	定禅寺通地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>定禅寺通街づくり協議会</li> <li>仙台市</li> </ul>	H 23	特別賞
		東北大学片平キャンパス地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立大学法人 東北大学</li> <li>仙台市</li> </ul>	H 29	特別賞
	石巻市	新蛇田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>石巻市</li> </ul>	H 28	特別賞
	女川町	女川駅前レンガみち周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県女川町</li> <li>女川町復興まちづくりデザイン会議</li> <li>独立行政法人 都市再生機構 宮城・福島震災復興支援本部</li> <li>おながわまちづくりJV (鹿島・オオバ女川町震災復興事業共同企業体)</li> <li>東環境・建築研究所 + 株式会社ブラッドデザイン</li> <li>女川駅前商業エリア景観形成推進協定運営委員会</li> <li>おながわレンガみち交流連携協議会</li> </ul>	H 30	大賞
山形県	鶴岡市	鶴岡市シビックコア周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市</li> <li>馬場町五日町線まちづくり協議会</li> </ul>	H 26	大賞
福島県	白河市	小峰城跡・白河駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>白河市</li> <li>株式会社 楽市白河</li> <li>特定非営利活動法人 しらかわ建築サポートセンター</li> </ul>	H 26	優秀賞
	二本松市	二本松市竹田根崎竹根通り沿道地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹田根崎まちづくり振興会議</li> <li>福島県</li> <li>二本松市</li> <li>早稲田大学都市計画研究室</li> <li>芝浦工業大学地域デザイン研究室</li> </ul>	H 27	優秀賞

### 関東地方

都道府県	市町村	地区名	応募者	年度	区分
茨城県	日立市	日立駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>日立市</li> <li>東日本旅客鉄道株式会社</li> <li>株式会社妹島和世建築設計事務所</li> </ul>	H 25	優秀賞
群馬県	渋川市	伊香保石段街地区 (石段アルウィン公園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>渋川市</li> </ul>	H 27	優秀賞
	草津町	クラシック草津地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>草津町</li> </ul>	H 29	大賞
埼玉県	狭山市	狭山スカイテラス (狭山市駅西口地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部</li> <li>狭山市</li> </ul>	H 26	優秀賞
	越谷市	越谷レイクタウン地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県越谷県土整備事務所</li> <li>越谷市</li> <li>一般社団法人 越谷市観光協会</li> <li>独立行政法人 都市再生機構 首都圏ニュータウン本部</li> </ul>	H 28	大賞
	入間市	ジョンソンタウン地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社磯野商会</li> <li>渡辺治建築都市設計事務所</li> </ul>	H 27	大賞
千葉県	市川市	行徳地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>行徳グリーン・クリンの会</li> <li>行徳芝桜の会</li> </ul>	H 26	特別賞
東京都	千代田区	大手町・丸の内・有楽町地区内、丸の内仲通り沿道街地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>千代田区</li> <li>一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくり協議会</li> <li>特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会</li> <li>三菱地所株式会社</li> </ul>	H 27	大賞
	中央区	日本橋二丁目地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本橋二丁目団地管理組合</li> <li>株式会社日本設計</li> <li>株式会社プランテック総合計画事務所</li> <li>Skidmore, Owings &amp; Merrill LLP</li> <li>日本橋ガレリアエリアマネジメント</li> </ul>	R 3	優秀賞
	港区	アークヒルズ地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>森ビル株式会社</li> </ul>	H 23	特別賞
		赤坂一丁目地区 (赤坂インターシティ AIR)	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤坂一丁目地区市街地再開発組合</li> <li>新日鉄興和不動産株式会社</li> <li>株式会社日本設計</li> </ul>	H 30	優秀賞

目黒区	自由が丘地区	・株式会社ジェイ・スピリット ・自由が丘商店街振興組合	H 24	大賞	
中野区	江古田三丁目地区 (江古田の杜プロジェクト)	・江古田三丁目地区まちづくり協議会 ・独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部 ・医療法人財団 健真会 総合東京病院 ・積水ハウス株式会社 開発事業部 ・積水ハウス株式会社 東京マンション事業部	2019	優秀賞	
板橋区	板橋区加賀地区	・加賀まちづくり協議会	H 30	特別賞	
江戸川区	新川千本桜沿川地区	・新川千本桜の会 ・江戸川区	H 28	大賞	
調布市	旧調布富士見町住宅地区	・調布富士見町住宅マンション建替組合 ・調布市 ・株式会社 NEXT ARCHITECT&ASSOCIATES	H 28	大賞	
町田市	南町田グランベリーパーク地区	・町田市 ・東急株式会社 ・東急電鉄株式会社 ・株式会社東急レクリエーション ・株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ ・株式会社東急設計コンサルタント ・LAGUARDA.LOW ARCHITECTS ・Fd Landscape ・ティーハウス建築設計事務所 ・株式会社森緑地設計事務所 ・株式会社レジファインクリエイティブ	R 2	大賞	
神奈川県	横浜市	日本大通り・象の鼻地区	・横浜市 ・日本大通り活性化委員会 ・株式会社ワコールアートセンター	H 23	大賞
		横浜市グランモール公園地区	・横浜市環境創造局 ・株式会社三菱地所設計	H 30	優秀賞
	川崎市	新百合山手都市景観形成地区	・新百合山手街管理組合 ・新百合山手景観形成協議会 ・新百合山手公園管理運営協議会 ・川崎市	2019	特別賞

#### 北陸・中部地方

都道府県	市町村	地区名	応募者	年度	区分
新潟県	三条市	まちの中の小さな里山 (JR 弥彦線高架脇ポケットパーク) 地区	・ポケットパーク整備実行委員会 ・新潟大学大学院 自然科学研究科 西村伸也研究室 ・花と笑顔を育てる会 ・三条市	H 24	特別賞
	糸魚川市	糸魚川市駅北地区	・糸魚川市 ・大町区、緑町区、新七区 ・糸魚川商工会議所 ・糸魚川広域商店街 ・EKIKITA WORKS ・株式会社 BASE968 ・株式会社ワークヴィジョンズ	R 3	特別賞
	南魚沼市	三国街道塩沢宿 牧之通り地区	・牧之通り組合 ・牧之通り射干の会 ・南魚沼市	H 23	大賞
富山県	富山市	市内電車環状線沿線地区	・富山市 ・株式会社 GK 設計	H 23	優秀賞
石川県	加賀市	加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区	・加賀市 ・加賀橋立まちなみ保存会	H 26	優秀賞
福井県	福井市	福井駅西口地区	・福井駅西口中央地区市街地再開発組合 ・福井市 ・株式会社アール・アイ・エー ・株式会社竹中工務店 ・バシフィックコンサルタンツ株式会社	H 29	優秀賞
	越前市	越前市四町地区・五箇地区	・越前市 ・四町まちづくり協議会 ・五箇地区まちづくり協議会 ・一般社団法人 福井県建築士会	H 24	優秀賞
山梨県	山中湖村	山中湖村平野ゆいの広場ひらり周辺地区	・山中湖村 ・富士急行株式会社 ・山中湖村デザイン戦略会議 ・東京大学 景観研究室 ・株式会社イー・エー・ユー + 株式会社文化財保存計画協会 + 株式会社アルメック VPI + SUGAWARADAISUKE 建築事務所株式会社 + 株式会社馬場設計 ・平野旅館民宿組合 ・平野区会 ・一般社団法人 山中湖観光協会 ・一般社団法人 山中湖エコミュージアム推進事業団	2019	特別賞

長野駅	長野市	長野駅善光寺口駅前広場地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社</li> </ul>	H 29	大賞
愛知県	豊橋市	旧東海道二川宿地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊橋市</li> <li>・'二川宿'まちづくり会</li> <li>・大岩町東まちづくり会</li> <li>・大岩中まちづくり会</li> <li>・NPO 法人 二川宿</li> <li>・二川・大岩まちづくり協議会</li> <li>・岩屋緑地に親しむ会</li> <li>・二川リンクージ</li> <li>・二川つるし飾りの会</li> <li>・国立大学法人 豊橋技術科学大学</li> </ul>	H 28	大賞
	半田市	半田運河周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社 Mizkan Holdings</li> <li>・半田市</li> <li>・特定非営利活動法人 半六コラボ</li> <li>・株式会社 N T T ファシリティーズ</li> <li>・株式会社 石本建築事務所</li> <li>・株式会社 G K デザイン 総研 広島</li> </ul>	H 29	大賞
三重県	津市	津市美杉町伊勢本街道周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢本街道を活かした地域づくり協議会</li> <li>・津市</li> <li>・三重県</li> </ul>	H 23	優秀賞

### 近畿地方

都道府県	市町村	地区名	応募者	年度	区分
京都府	長岡京市	八条ケ池周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡京市</li> </ul>	H 25	大賞
兵庫県	神戸市	ガーデンシティ舞多間みつけプロジェクト地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸芸術工科大学</li> <li>・舞多間みつけコミュニティ</li> <li>・独立行政法人 都市再生機構西日本支社</li> </ul>	H 23	大賞
	姫路市	リビオ姫路大津のぞみ野地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のぞみ野野地管理組合法人</li> <li>・日鉄興和不動産株式会社</li> <li>・株式会社日鉄コミュニティ</li> <li>・株式会社スピナ</li> <li>・有限会社アーバンセクション</li> <li>・横浜市立大学 国際総合科学部</li> </ul>	2019	優秀賞
	西宮市	甲陽園目神山地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲陽園目神山地区まちづくり協議会</li> <li>・西宮市</li> </ul>	H 24	大賞
	篠山市	篠山城下町地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篠山まちなみ保存会</li> <li>・篠山市</li> </ul>	H 26	大賞

### 中国・四国地方

都道府県	市町村	地区名	応募者	年度	区分
島根県	出雲市	神門通り地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県</li> <li>・出雲市</li> <li>・神門通り甕りの会</li> </ul>	H 27	優秀賞
	江津市	江津市域地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江津市</li> </ul>	H 23	優秀賞
	奥出雲町	奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観 (国選定重要文化的景観)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥出雲町</li> <li>・奥出雲町教育委員会</li> <li>・奥出雲町農業遺産推進協議会</li> <li>・奥出雲町文化体験実行委員会</li> <li>・公益財団法人可部屋集成館</li> <li>・公益財団法人糸原記念館</li> <li>・一般社団法人奥出雲地域活性化プロジェクト</li> <li>・大原新田棚田保全管理委員会</li> </ul>	R 2	優秀賞
岡山県	高梁市	吹屋地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹屋町並保存会</li> <li>・高梁市</li> </ul>	H 24	大賞
広島県	尾道市	尾道市景観地区 (尾道・向島歴史的風致地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道市</li> </ul>	R 2	優秀賞
	三次市	三次町歴史的街並み景観形成地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三次町歴まち協議会</li> <li>・三次地区自治会連合会</li> <li>・三次市</li> </ul>	H 30	優秀賞
山口県	下関市	城下町長府地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城下町長府景観協議会</li> <li>・下関市</li> </ul>	H 25	大賞
	萩市	浜崎地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜崎しつちよる会</li> <li>・萩市</li> </ul>	H 23	優秀賞
	長門市	山口県長門市深川湯本地区 (長門湯本温泉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長門湯本温泉観光まちづくり推進会議</li> <li>・長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議</li> </ul>	R 3	優秀賞
	周南市	徳山駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周南市</li> <li>・周南市中心市街地活性化協議会</li> <li>・山口県建築士会徳山支部</li> </ul>	R 2	優秀賞

香川県	高松市	高松丸亀町G街区地区	・丸亀町グリーン株式会社	H 25	優秀賞
愛媛県	松山市	道後温泉本館周辺地区	・道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 ・愛媛県 ・松山市	H 26	優秀賞
		ロープウェー街・大街道周辺地区	・松山ロープウェー商店街振興組合 ・松山ロープウェー中央商店街振興組合 ・松山大街道商店街振興組合 ・森ビル株式会社 ・国土交通省松山河川国道事務所 ・松山市	H 28	大賞

九州・沖縄地方

都道府県	市町村	地区名	応募者	年度	区分
福岡県	福岡市	博多駅・はかた駅前通り地区	・福岡市 ・九州旅客鉄道株式会社 ・博多まちづくり推進協議会	H 24	優秀賞
		警固公園周辺地区	・福岡市 ・福岡大学工学部景観まちづくり研究室 ・アーバンデザインコンサルタント ・警固公園対策会議	H 28	優秀賞
佐賀県	鹿島市	肥前浜宿地区	・肥前浜宿まちづくり協議会 ・特定非営利活動法人 肥前浜宿水とまちなみの会 ・鹿島市	H 25	特別賞
長崎県	長崎市	出島地区	・長崎市 ・長崎自動車株式会社 ・出島町自治会 ・江戸町自治会 ・NPO 法人 長崎コンプラドール ・NPO 法人 長崎の食文化を推進する会	R 3	大賞
熊本県	熊本市	熊本駅周辺地区	・熊本県 ・熊本市 ・熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議	H 25	大賞
大分県	大分市	大分駅南地区	・大分市 ・大分いこいの道協議会	2019	大賞
		佐伯市 さいき城山桜ホール周辺地区	・佐伯市 ・福岡大学 景観まちづくり研究室 ・久米設計 ・スタジオテラ ・大分大学 建築・都市計画研究室 ・大手前開発 市民会議	R 3	優秀賞
	別府市	鉄輪温泉地区	・特定非営利活動法人 鉄輪温泉共栄会 ・別府市	H 23	優秀賞
宮崎県	日向市	日向市駅周辺地区	・日向市 ・宮崎県 ・九州旅客鉄道株式会社	H 26	大賞
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島市地区 市電軌道敷緑化整備事業	・鹿児島市	H 25	特別賞
沖縄県	北大東村	北大東島の燐鉱山由来の文化的景観地区	・北大東村 ・北大東村教育委員会 ・中部大学都市デザイン研究室 ・株式会社国建 ・株式会社与儀組 ・うふあがり島景観協議会	R 2	優秀賞

## 景観教育・普及啓発部門 H23～27年度実施

### 北海道・東北地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
北海道	札幌市	札幌市 子ども向け都市景観・都市計画普及啓発活動	・札幌市	H24	優秀賞
		「おたる案内人」ジュニア育成プログラム(小樽市立色内小学校5,6年生の総合学習)	・特定非営利活動法人 歴史文化研究所	H27	優秀賞
	そらち地域	そらち旧産炭地域における“炭鉱の記憶”の保存・活用	・特定非営利活動法人 炭鉱の記憶推進事業団	H25	優秀賞
岩手県	一関市	骨寺村荘園遺跡の景観保全活動を通じた地域づくり事業	・本寺地区地域づくり推進協議会	H26	優秀賞
宮城県	仙台市	建築や都市のデザイン手法を用いた景観まちづくり学習	・建築と子供たちネットワーク仙台	H23	優秀賞
		子どもが参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト - 出会いから震災復興まで -	・建築と子供たちネットワーク仙台	H25	大賞
福島県	いわき市	わくわくタイム(大好き中央台)	・いわき市立中央台東小学校	H23	優秀賞

### 関東地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
千葉県	柏市	下田の杜における人と自然の景観形成と普及啓発活動	・下田の杜里山協議会	H26	優秀賞
東京都	練馬区	私たちの町に言葉の贈り物	・練馬区立富士見台小学校	H23	優秀賞
神奈川県	逗子市	住民がつくる我がまちの景観デザイン「まちなみデザイン逗子」	・逗子ほととぎす隊景観部会 ・逗子市	H27	優秀賞

### 北陸・中部地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
新潟県	新潟市	湊小学校Mプロジェクト～地域と共に子どもを育てる	・新潟市立湊小学校	H23	優秀賞
		小須戸の町並みから学ぶ取組～小・中学校と住民団体の連携を生かして～	・新潟市立小須戸小学校 ・新潟市立小須戸中学校 ・小須戸町並み景観まちづくり研究会	H24	優秀賞
	上越市	人がつなぐ雁木のまちの歴史景観(大町小学校6年生の総合学習)	・特定非営利活動法人 街なみ Focus ・あわゆき組 ・上越市立大町小学校(6年生)	H26	大賞
	佐渡市	宿根木観光ボランティアガイド活動	・佐渡市立小中中学校 宿根木観光ボランティア部	H23	大賞
福井県	南越地区	歴史や文化を活かしたまちづくり工業高校の建築教育支援	・一般社団法人 福井県建築士会南越支部	H24	大賞
岐阜県	岐阜市	景観まちづくりの推進・啓発活動	・一般財団法人 岐阜市にぎわいまち公社	H23	優秀賞
愛知県	岡崎市	郷土への誇りと愛着を育む「家康学習と景観まちづくり学習」	・岡崎市立大樹寺小学校	H25	優秀賞
		ふるさと藤川夢に向かって新世代プロジェクト	・岡崎市立藤川小学校	H26	優秀賞

### 近畿地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
兵庫県	朝来市	生野鉱山と鉱山都市の歴史景観を活かした町並みまちづくり	・口銀谷の町並みをつくる会	H24	優秀賞

中国・四国地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
山口県	下関市 (福岡県 北九州市)	関門地区(北九州市・下関市) 景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人 福岡県建築士会北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会(下関市・北九州市)	H25	大賞※
高知県	四万十市	四万十川流域の文化的景観に係る 景観教育・普及事業	・四万十市	H23	優秀賞

九州・沖縄地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
福岡県	北九州市 (山口県 下関市)	関門地区(北九州市・下関市) 景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人 福岡県建築士会北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会(下関市・北九州市)	H25	大賞※
	北九州市	郊外型団地における地域主体の 「住宅景観」づくり(維持と啓発)	・青葉台ぼんえるふ団地管理組合法人	H26	優秀賞
	福岡市	地域の誇り&まちなみ育てプロジェクト ～姪浜の宝を福岡市民の宝に!～	・唐津街道姪浜まちづくり協議会	H27	大賞
宮崎県	宮崎市	中学生のための景観教室	・社団法人 宮崎県建築士会 ・宮崎市	H23	優秀賞
	日向市	日向市駅周辺のまちづくりを題材とした まちづくり課外授業	・宮崎県県土整備部 ・日向市	H23	大賞

※2県にまたがった同一の賞

景観づくり活動部門 H27年度実施

北海道・東北地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
北海道	東川町	建築緑化協定の活用による まちなみ作り	・東川町 ・東川町土地開発公社	H27	優秀賞
宮城県	松島町	住民参画による景観まちづくり	・松島町	H27	大賞

関東地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
埼玉県	鴻巣市	花とおはなしできる北鴻巣すたいる	・特定非営利活動法人 エリアマネジメント北鴻巣 ・株式会社サポート	H27	特別賞

北陸・中部地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
石川県	七尾市	七尾市和倉地区景観協定の締結と景観づくり	・七尾市和倉地区景観協定運営委員会	H27	優秀賞
愛知県	豊田市	自然と歴史を受け継ぎ、暮らしの香り漂う 生活空間の創造	・足助まちづくり推進協議会	H27	優秀賞

近畿地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
京都府	京都市	市民力による京都の広告景観向上の取組	・京都市	H27	特別賞



## 景観まちづくり活動・教育部門 H28～R3年度実施

### 北海道・東北地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
北海道	札幌市	SAPP_RO フラワーカーペット	・サッポロフラワーカーペット実行委員会	R3	優秀賞
青森県	黒石市	まち歩きユニバーサルデザインプロジェクト 黒石 2017～2019	・青森県建築士会 南黒支部	R2	優秀賞
宮城県	石巻市	中央一丁目「街並み委員会」 ～震災を乗り越え、人とのつながりが息づく、 歩いて暮らせる安全なまちを目指して～	・中央一大通り会 ・横浜国立大学 都市計画研究室 ・株式会社街づくりまんぼう ・石巻市	H29	大賞
山形県	金山町	山形県金山町の夜間景観づくり	・山形県金山町 ・東京都市大学建築学科小林研究室	R2	優秀賞
	川西町	高校生と共に進めるイザベラ・バードの 古道復元活動	・諏訪峠古道保存会	H28	優秀賞
福島県	いわき市	まちづくり総合学習	・いわき市立久之浜第一小学校 ・久之浜久地区まちづくりサポートチーム	H28	優秀賞
	喜多方市	南町 2850 プロジェクト ～喜多方市小田付地区空き家・空き地の再生～	・会津北方小田付郷町衆会 ・福島県立喜多方桐桜高等学校 ・株式会社 ワークヴィジョンズ ・福島県建築士会 喜多方支部 ・株式会社 光進都市コンサルタント ・福島県喜多方建設事務所 ・喜多方市 ・公益財団法人 福島県区画整理協会	H28	大賞

### 関東地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
千葉県	浦安市	浦安景観まちづくり啓発事業	・うらやす景観まちづくりフォーラム ・浦安市 都市整備部 都市計画課	2019	優秀賞
	四街道市	栗山みどりの保全事業（たろやまの郷）	・四街道市 ・栗山みどりの保全事業実行委員会	H28	優秀賞
	白井市	里山を生かしたまちづくり	・特定非営利活動法人 しろい環境塾	H29	優秀賞
	香取市	佐原おかみさん会活動	・佐原おかみさん会	H30	優秀賞
東京都	墨田区	北斎通りまちづくりの会の取り組み 景観まちづくり活動	・北斎通りまちづくりの会	R2	大賞
神奈川県	相模湾沿岸 地域一帯 及び横浜市 戸塚区	相模湾沿岸地域 40 余団体の市民組織等による 邸園等の利活用を通じた保存啓発活動	・湘南邸園文化祭連絡協議会	R2	特別賞
	藤沢市	ふじさわこどもまちづくり会議	・ふじさわこどもまちづくり会議実行委員会	H28	優秀賞
	茅ヶ崎市	懐島プロジェクト —歴史・地形・生活から読み解く—	・まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎	H28	優秀賞

### 北陸・中部地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
富山県	南砺市	城端良山祭の文化と景観を次世代に ～大都市圏との連携による 景観を生かした空き家再生～	・じょうはな庵 ・一般社団法人 城端景観・文化保全機構 ・新潟大学工学部建築学プログラム松井研究室	2019	優秀賞
岐阜県	中津川市	中山道中津川宿の景観まちづくり	・本町中山道景観協議会＋中津川市＋名古屋工業大学景観研究会 ・中津川市 ・名古屋工業大学景観研究会	H28	優秀賞
	可児市	元々々利まちづくり委員会“城守隊” 久々利城跡整備活動	・元々々利まちづくり委員会 ・株式会社パロマ ・可児市	2019	大賞

静岡県	静岡市	清水港・みなと色彩計画	・清水港・みなと色彩計画推進協議会 ・静岡市	R 3	大賞
愛知県	田原市	景観まちづくり街のみんなでおもてなし 「福江*つるし飾りロード」	・清田・福江校区まちづくり推進協議会	H 28	大賞
		美しいふるさと渥美を愛する心を育む 『福中まちづくりプロジェクト』	・田原市立福江中学校	H 29	大賞
	岡崎市	岡崎百景 - 私とまちの100のドラマ -	・岡崎市 ・特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた ・岡崎百景推薦人	H 28	優秀賞
	豊川市	豊川稲荷表参道商店街景観整備事業	・豊橋技術科学大学 建築・ 都市システム学系 建築都市設計研究室	H 28	優秀賞

#### 近畿地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
京都府	宮津市	宮津・竹の学校	・特定非営利活動法人地球デザインスクール	H 30	優秀賞
大阪府	枚方市	プレーパークこおりがおか (地域、UR、行政の連携による斜面林活用)	・プレーパークこおりがおか実行委員会 ・独立行政法人都市再生機構 西日本支社 ・特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター	2019	優秀賞

#### 中国・四国地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
山口県	萩市	町歩きガイドツアー 「古地図を片手に、ぶらり萩あるき」	・NPO 萩まちじゅう博物館 ・NPO 萩観光ガイド協会 ・浜崎しつちよる会 ・須佐地域史跡案内ボランティアガイドの会 ・萩往還佐々並どうししてやろう会 ・萩市	R 3	優秀賞

#### 九州・沖縄地方

都道府県	市町村	活動名	応募者	年度	区分
福岡県	柳川市	西鉄柳川駅周辺に於ける市民・事業者 ・行政・専門家による景観まちづくりの取り組み	・柳川市 ・西日本鉄道株式会社 ・西鉄柳川駅周辺地区デザイン検討会議 ・柳川市立藤吉小学校 育友会 父親委員会	H 28	大賞
長崎県	長崎市	民・学・官が一体となった歴史ある 住宅地「深堀地区」の景観まちづくり	・深堀地区まちづくり推進協議会 ・長崎大学工学部安武研究室 ・長崎大学環境科学部渡辺研究室 ・九州大学持続可能な社会のための決断科学センター ・長崎市	H 30	優秀賞
沖縄県		沖縄県景観モデル地区の小学校における 風景学習の試み	・特定非営利活動法人沖縄の風景を愛さる会 ・沖縄県	H 30	大賞

平成27年度に景観法10周年を記念として実施しました「景観づくり活動部門」と

従来の「景観教育・普及啓発部門」を統合し、平成28年度から新たに「景観まちづくり活動・教育部門」として募集しております。

